

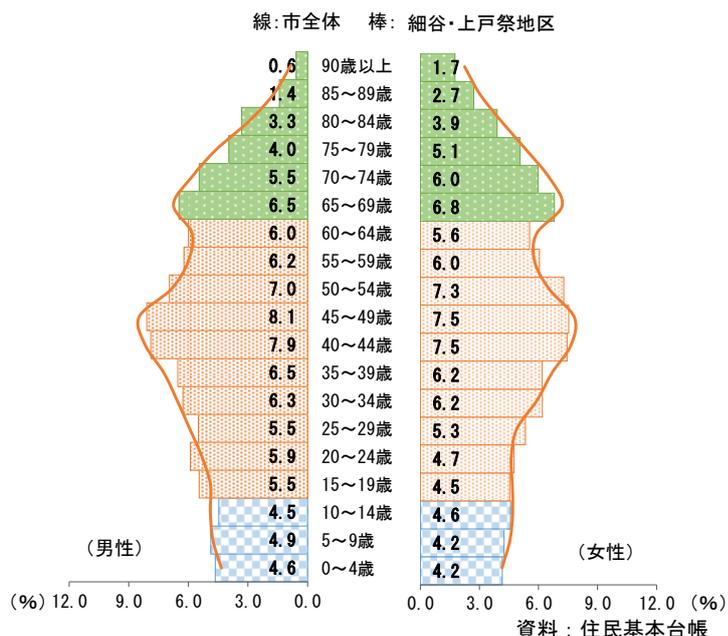
27 細谷・上戸祭地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・総人口：16,554人（男性8,087人，女性8,467人）
 - ・世帯数：7,453世帯（1世帯当たり2.22人）
 - ・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：6,019人
 - ・高齢化率：23.8%（市全体24.5%）
 - ・要介護認定率：15.1%（市全体15.6%）
- 資料：住民基本台帳人口（H30.9.30）等

図Ⅱ-1-1 性別・5歳階級別人口（H30.9.30）



図Ⅱ-1-2 年齢3区分別構成比（H30.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	13.5%	13.6%
15～64歳	62.8%	61.9%
65歳以上	23.8%	24.5%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-3 人口指数（H30.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	59.3	61.6
老年人口指数	37.8	40.1
年少人口指数	21.4	21.5
老年化指数	176.4	186.4

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-4 産業別就業人口構成比（H27）

	地区	市全体
第1次産業	1.1%	2.6%
第2次産業	21.3%	26.8%
第3次産業	77.6%	70.6%

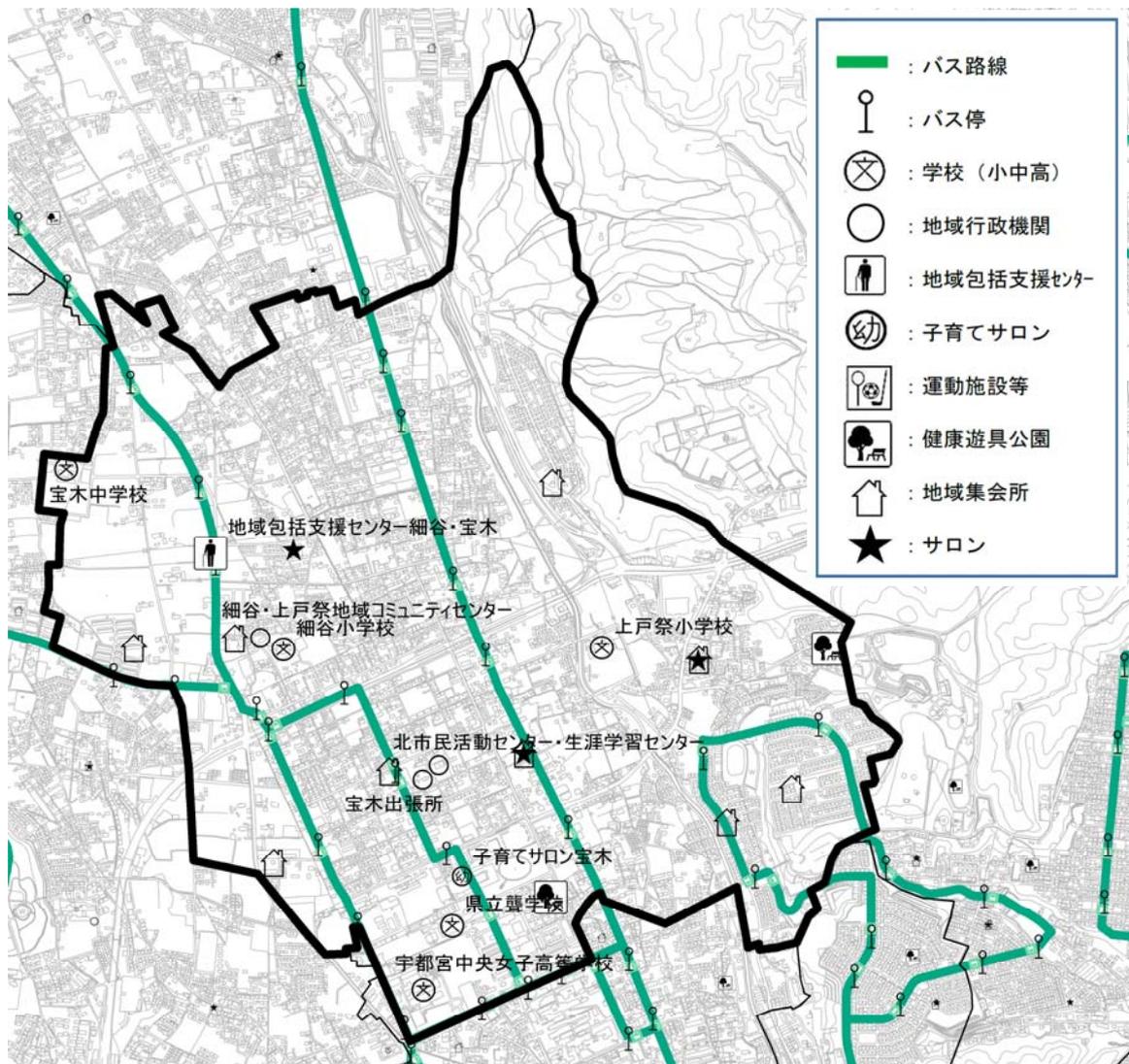
資料：平成27年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	15自治会
	加入世帯数	4,669世帯
安全・安心に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巨大地震の発生を想定した避難訓練の実施（防災フェア、2月16日開催） ・ 環境点検の実施（7月） ・ スクールガードへの協力 ・ 交通安全週間における立哨 ・ 地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施 	
スポーツ行事	6月：ソフトボール大会，ネオホッケー大会，グランドゴルフ大会 7月：バレーボール大会，ドッチビー大会，輪投げ大会 9月：卓球大会 10月：体育祭	
地区イベント	11月：農業祭（地域主催ではない。事務局：JAうつのみや西部営農経済センター） 11月：農業祭と同時開催でみんなの夢実現事業を活用した「ふれあいフェスタ」を開催	

資料：令和元年度宇都宮市みんなであちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



地域資源			
バス路線（本数）	424 本	運動施設等	0 施設
バス停	23 箇所	健康遊具公園	2 箇所
駅	0 駅	地域集会所	9 箇所
学校（小中高）	5 校	ふれあい・いきいきサロン	3 箇所
地域行政機関等	3 施設	スーパー・ドラッグストア	7 店舗
地域包括支援センター	1 施設	病院・診療所	10 施設
子育てサロン	1 施設	歯科診療所	15 施設

【地域の質的状況】

- ・ 細谷・上戸祭地区は、日光街道、外環状線が走り、周辺部は商業施設が立ち並び、外環状線内側には古くからの住宅街が多く、外側には住宅団地が存在する。
- ・ バスの発着所である細谷車庫が地域内にあり、バス路線、本数ともに多く、交通の便も良く、スーパー・ドラッグストア、学校や、公共施設も多数存在し、生活の利便性が高い。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ(平成30年度)等

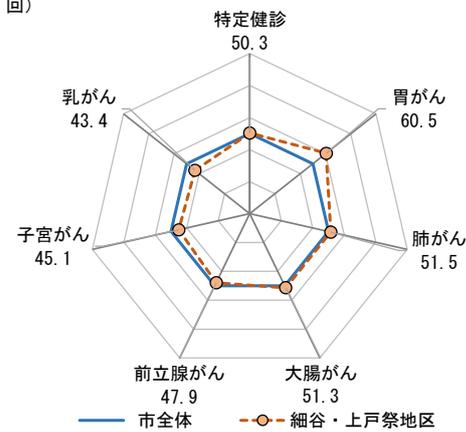
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況 (※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

(※①・③・④は市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

(対象) 特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上(男性のみ)
子宮がん：20歳以上(女性のみ)
乳がん：30歳以上(女性のみ)(40歳以上は2年に1回)

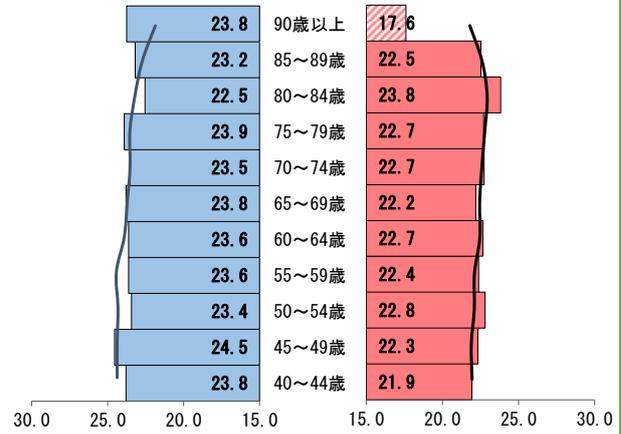


資料：平成29年度KDB等データ

② BMI (年齢層別平均値)

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

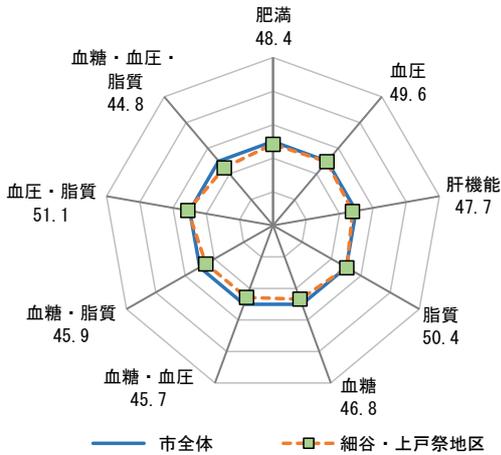
(男性) 線：市全体 棒：細谷・上戸祭地区 (女性)



資料：平成29年度KDBデータ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

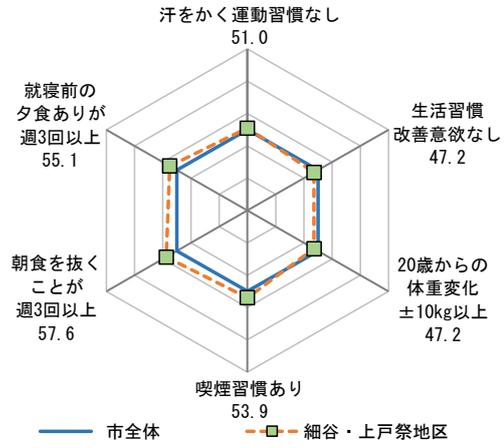
(対象) 国民健康保険被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

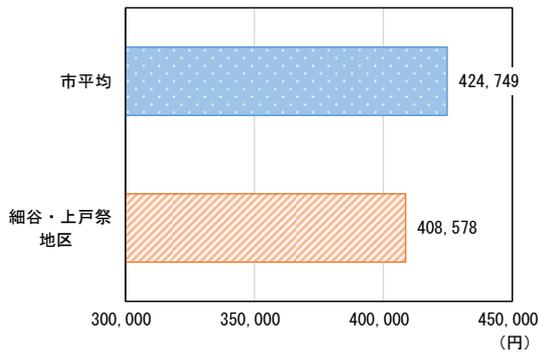


資料：平成29年度KDBデータ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

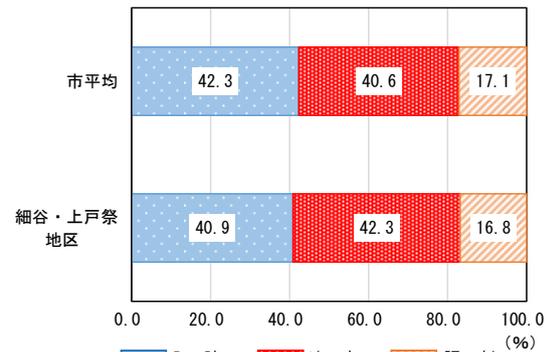
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 医療費の内訳（構成比）

	地区	市全体
糖尿病	3.94%（＝）	4.21%
高血圧症	3.79%（↓）	4.34%
脂質異常症	3.59%（＝）	3.65%
高尿酸血症	0.07%（＝）	0.09%
脂肪肝	0.38%（＝）	0.38%
動脈硬化症	0.29%（＝）	0.33%
脳出血	0.26%（＝）	0.40%
脳梗塞	1.70%（＝）	1.71%

市全体との差が±0.5%以内：（＝），市全体との差が0.5%より高い（↑），低い（↓）

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	地区	市全体
狭心症	3.97%（＝）	3.64%
心筋梗塞	0.56%（＝）	1.02%
がん	9.51%（↑）	8.80%
筋・骨格	9.50%（↓）	10.49%
精神	2.71%（↑）	2.17%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.24%（＝）	0.25%
慢性腎不全	8.09%（＝）	8.26%

資料：平成29年度KDBデータ

ウ 介護の状況

① 基本情報

（対象）65歳以上

	地区	(市全体)
1号被保険者数	3,932人	
認定者数	595人	15.6%
認定率	15.1%	15.6%

【内訳】

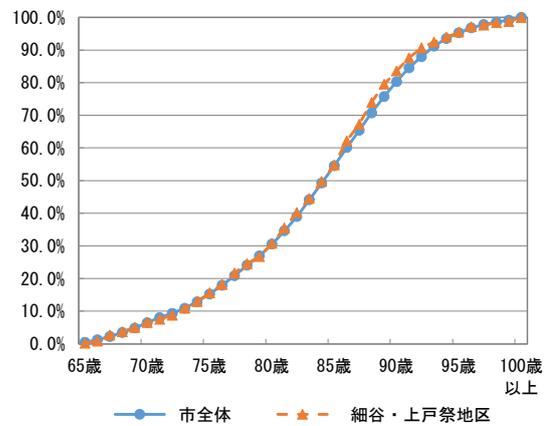
要支援	人数		構成比	
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2
要介護	67人	102人	28.4%（↓）	30.9%
	105人	101人	34.6%（＝）	34.1%
	85人	80人	37.0%（↑）	35.0%
	80人	55人		
	55人			

市全体との差が±1.0%以内：（＝），市全体との差が1.0%より高い（↑），低い（↓）

資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

② 年齢分布（累計）

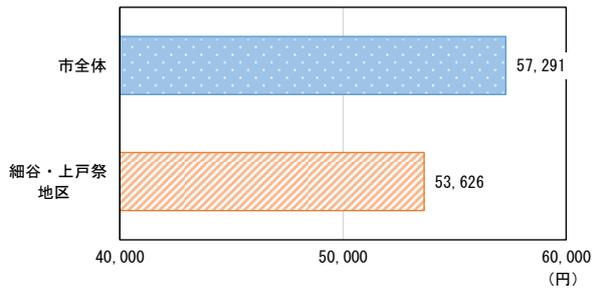
（対象）65歳以上



資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

③ 1件当たり介護給付月額

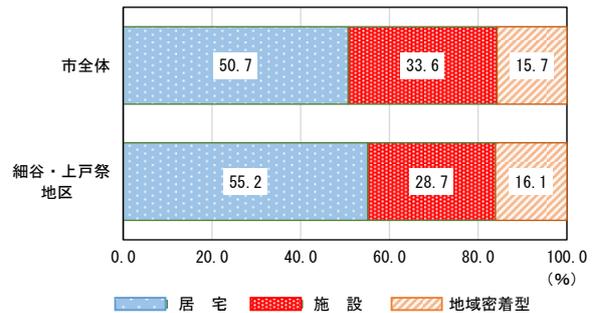
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ サービス別介護給付額の割合

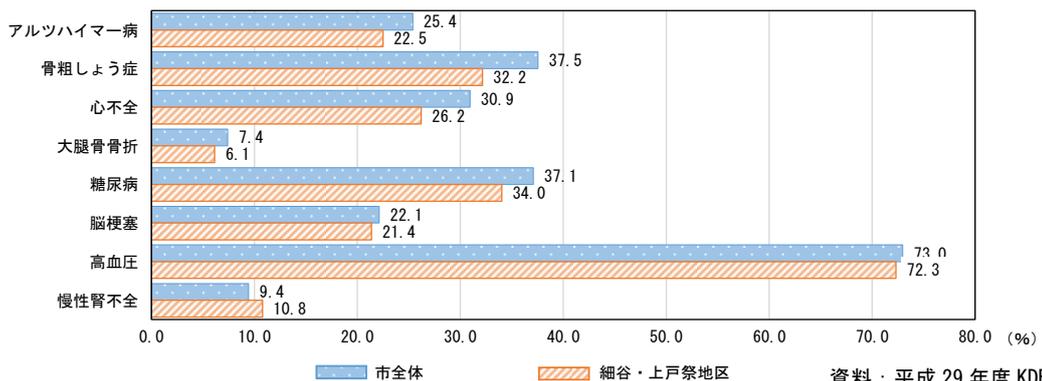
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

⑤ 認定者の有病率

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

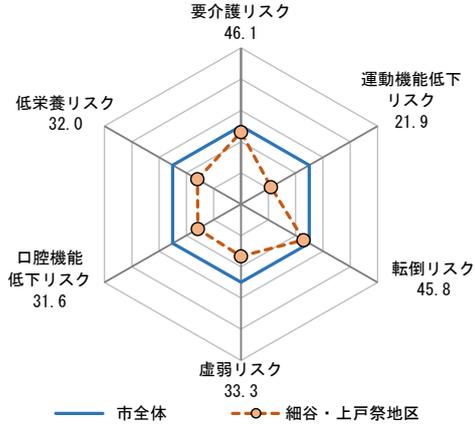


資料：平成29年度KDBデータ

(3) 生活習慣・社会参加

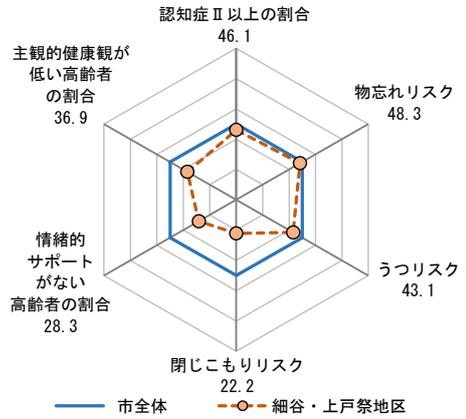
(※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護リスク (小さいほど良い)



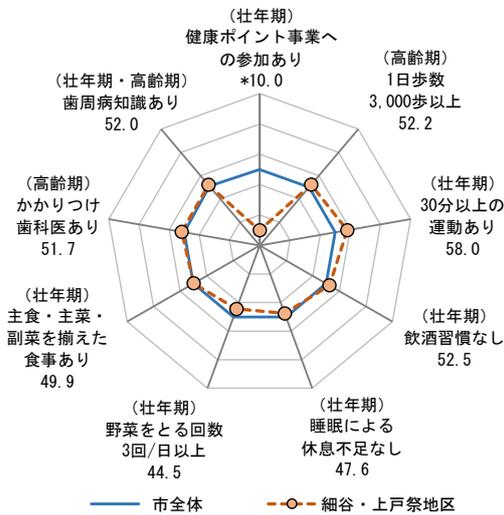
資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）

② 認知症リスク等 (小さいほど良い)



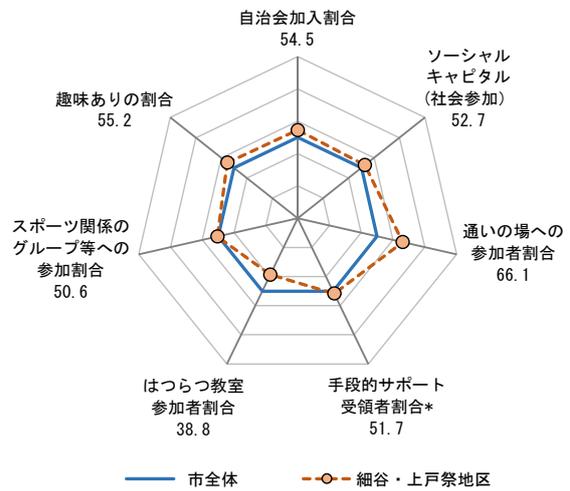
資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がある高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

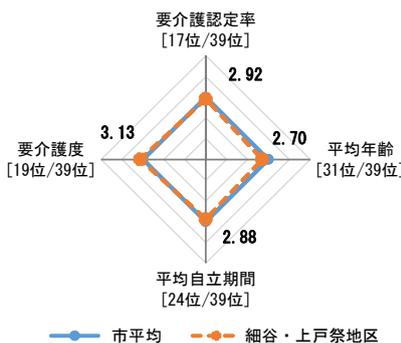
P. 14 参照

① 介護健康度

11.64 点/20 点
[24 位/39 地区]

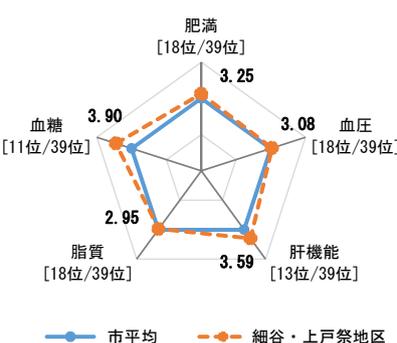


[関連指標]



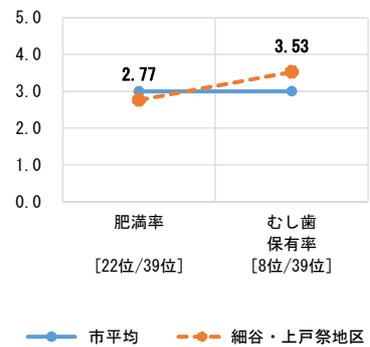
② 生活習慣健康度

16.77 点/25 点
[16 位/39 地区]



③ 子ども健康度

6.29 点/10 点
[18 位/39 地区]



※各関連指標は全市を3点とした場合の値、市平均より健康度が高い：😊 低い：😞

(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べてやや低い。
- ・ 産業別就業人口は、市全体に比べて「第3次産業」の占める割合が高い。
- ・ スポーツ大会や農業祭の開催など地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体と比べて「胃がん」は特に高く、「乳がん」は低い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体と比べて「血圧・脂質」「脂質」はやや高い。
- ・ 行動特性は、市全体と比べて「就寝前の夕食ありが週3回以上」「朝食を抜くことが週3回以上」が高い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市平均に比べて低い。
- ・ 医療費の内訳は、市全体に比べて「がん」「精神」が高い。
- ・ 介護認定率は、市全体と比べて低い。1件当たり介護給付月額、市全体に比べて低く、サービス別介護給付額の割合は「居宅」が高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて全項目低いが、「運動機能低下リスク」は極めて低い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて全項目低いが、「閉じこもりリスク」「情緒的サポートがない高齢者の割合」が極めて低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「30分以上の運動あり」は高く、「健康ポイント事業への参加あり」は極めて低く、「野菜をとる回数3回/日以上」も低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「通いの場への参加者割合」は特に高く、「はつらつ教室参加者割合」は特に低い。

【健康度】。

- ・ 介護健康度は、すべての項目の点数は、市平均と比べて同等である。
- ・ 生活習慣健康度は、「血糖」「肝機能」の点数は、市平均と比べて高い。
- ・ 子どもの健康度は、「肥満率」の点数は、市平均と比べて同等であるが、「むし歯保有率」の点数は高い。

イ 地域の課題

- ・ 細谷・上戸祭地区においては、生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「脂質」「血圧」がやや高く、行動特性は「朝食を抜くことが週3回以上」「就寝前の夕食ありが週3回以上」が高い。生活習慣病を予防するため、朝食の欠食や食習慣など食に関する課題があることから、栄養に関する正しい知識の普及を行うなど栄養改善の取組が必要である。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「健康ポイント事業への参加あり」は低いが、生活習慣に関する他の項目は市全体とほぼ同等であり、「30分以上の運動あり」は高い。健康ポイント事業への参加と生活習慣健康度には相関があり、生活習慣病の発症を予防するため、健康ポイント事業への参加を促すなど、より一層生活習慣改善の意識の醸成を行う必要がある。
- ・ 高齢者は、市全体に比べて、社会参加・社会的ネットワークにおいて「はつらつ教室参加者割合」は低いが、「通いの場への参加者割合」は高く、要支援・要介護リスクや認知症リスクも低い状況にある。引き続き、身近な場所での社会参加を促すなどソーシャルキャピタルを高める取組を行い、高齢者の健康の保持増進と介護予防を推進する必要がある。